

2012年6月21日

教育委員会教育総務部保健体育安全課長様

東野小学校防球ネットに関するお願い

放射能汚染から子どもを守るうらやすネットワーク

5月に実施された運動会当日、校庭の片隅に折りたたまれて露出した状態で保管されていた防球ネット（2011年3月11日の震災以前に使用されていたもので、枠組みが壊れたため、ネットのみが保管されている）付近で、児童の弟妹にあたる幼児たちが遊ぶ状況がありました。ネット付近の地表線量を常時携帯している私用のガイガーカウンター（エアカウンター）で計測したところ、 $0.34\mu\text{Sv/h}$ （地上10cm）を示しました。防球ネット上も念のため計測してみたところ、 $1.26\mu\text{Sv/h}$ （表面空間線量）という結果でした。

運動会終了後、その結果を校長先生にお伝えし、撤去していただくようお願いしました。その際の校長先生のご説明では、「教育委員会が再利用するとの意向があるために、学校でも止むを得ず保管している」「撤去はできない」「ロープを張って児童が立ち入らないようにしているので問題はない」というものでした。

その後6月2日に再度3台の私用のガイガーカウンターで計測したところ、3台とも $1\mu\text{Sv/h}$ を上回り、高い線量を示す警報音が鳴り止まない状況でした。この時点では、運動会当日には露出状態であったネットはブルーシートで覆われていましたが、高い放射線に関する注意書きも立ち入り禁止の表示も依然として全くない状況でした。その後、ロープが新しいものに張り替えられ、「立ち入り禁止」を喚起する表示も新たに設置されました。

子どもたちが毎日立ち入る校庭に、このような高い放射線量を示す物体がそのまま放置されていることに、保護者として大変な危惧を覚えます。そこで以下の項目を一刻を争って実施していただきますよう、お願い申し上げます。

記

- 1、一刻も早く防球ネットを安全な方法で当該校庭から撤去して下さい。
- 2、この防球ネットを「再利用」することは絶対にやめて下さい。
- 3、防球ネットが置かれていた部分を含め、校庭の土壌検査を実施し、その結果を保護者にお知らせ下さい。

以上